

執行状況

一般会計の主な歳入・歳出の決算見込み

区分	最終 予算額	決算 見込み額
主な歳入	市税	2,607億円 2,656億円 (140,691円)
	諸収入	1,259億円 1,166億円
	国庫支出金	1,187億円 1,146億円
	地方交付税	1,102億円 1,131億円
	市債	563億円 435億円 (23,042円)
主な歳出	保健福祉費	2,071億円 1,986億円
	諸支出金	1,272億円 1,231億円
	職員費	1,031億円 1,030億円
	公債費	955億円 950億円
	経済費	887億円 859億円
	土木費	848億円 763億円

※()は市民1人当たりの金額。決算見込み額を平成19年4月1日現在の人口(国勢調査ベース)1,887,819人で除して算出

予算の状況

当初予算 平成17年度に引き続き
予算規模が減少

地方交付税などの国からの収入が減少する一方で、児童手当支給費や生活保護費などの削減できない支出が増加する厳しい財政状況が続いています。そのため、収入・支出について見直しを行った結果、予算規模が前年度に比べて1.2%の減となりました。

補正予算 防災対策や施設整備に
予算を追加

道路・河川の防災対策や市営住宅のアスベスト対策、新たに国からの財源の見通しを得た保育所整備費補助金などに、30億円の予算を追加しました。

【主な補正予算項目】

道路や河川の防災対策	6億円
保育所整備	4億円
市営住宅アスベスト除去	3億円
職員給与条例の改定に伴う 職員給与などの減額	-6億円

最終予算 前年度比2.7%減の
最終予算

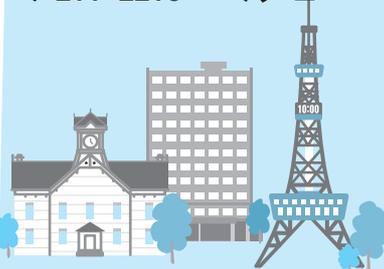
当初予算額	7,840億円
補正予算額	30億円
前年度からの繰越額	69億円
合計(最終予算額)	7,939億円

平成18年度

予算の執行状況

福祉や教育など、市政運営の基本となる一般会計予算の平成18年度執行見込みをお知らせします。最終的な決算の内容は、本誌12月号に掲載する予定です。

詳細 財政部
☎211-2216

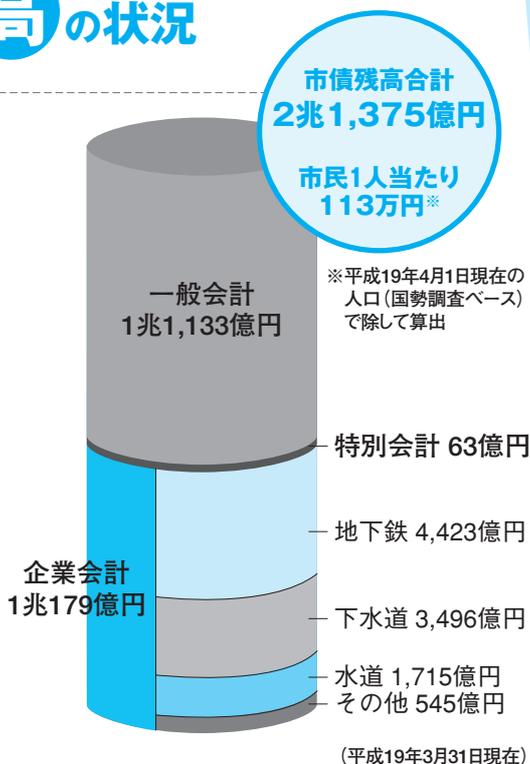


市債残高の状況

市債は、公共施設などを造るために市が借り入れる長期の借入金。将来、その施設を利用する市民にも、費用を公平に分担してもらうためのものです。

今後の返済に備えて資金の積み立てをするなど、計画的な返済に努めているほか、新たな借入金をできる限り抑制しており、市債の残高は減少していく見込みです。

なお、一時借入金(年度途中の一次的な資金不足を補うための借り入れ)については、一般・企業・特別の各会計ともに借り入れ残高はありません。



基金残高の状況

基金とは、特定の目的のために積み立てた資金や不動産などの財産のことです。

区分	現在高
減債基金	1,157億円
土地開発基金	714億円
まちづくり推進基金	185億円
財政調整基金	150億円
その他の基金	144億円
合計	2,350億円

(平成19年3月31日現在)